香春町「地域おこし協力隊」募集要項

香春町移住・空き家相談室で新たな町の課題解決への取り組み
～一般社団法人カワラカケルと共に～

香春町は、福岡県の東北部に位置し、自然豊かな景観を有する町です。また国道２０１号と国道３２２号の結節点にあり、交通の要衝となっています。自家用車で福岡市へ約７０分、北九州市へ約５０分で移動できる利便性がありながら、のどかな田園風景や歴史ある町並みを有しているという魅力を持っています。

しかしながら、人口減少や高齢化の進展等により地域社会の活力が衰退しており、地域力の維持・強化を図るため担い手となる人材の確保が重要な課題となっています。

そのため、地域社会の新たな担い手として、地域外から意欲ある人材を積極的に受け入れ、外部からの視点や発想力による地域活性化を図るため、香春町地域おこし協力隊設置要綱に基づき、次の通り「地域おこし協力隊」を募集します。

■ これまでの活動

香春町では、平成２８年度から地域おこし協力隊制度を導入し、移住施策に取り組んでいます。活動の拠点は、移住・交流及び空き家相談の場「香春町移住・空き家相談室（採銅所駅舎内第二待合室)」。町の有形文化財でもあるこの施設の役割は、移住相談のワンストップ窓口、移住希望者や定住者・地域の方々との交流の場、地域資源を活かした交流や体験イベントの場などです。

【これまでに採銅所駅舎で開催したイベント（一部)】

・空き家ツアー

移住や二拠点居住、開業に向けた店舗など空き家活用を検討している人向けのワークショップ

・ツキ市

お客さんもお店の人とも「つながる」ことを目的とした衣食住遊すべてが揃うマルシェ

・終活についての勉強会

相続や贈与、登記、遺言など空き家に付随する勉強会。講師は、本町に移住された司法書士。

これまでの隊員は、地域と交流の場づくり・移住者のための住環境整備・香春町の「くらし」のイメージの発信・自らの起業に向けた取組・農あるライフスタイルの確立などさまざまな『香春町に新しい人の流れをつくる』ミッションのもと活躍いただきました。ただし、地域おこし協力隊の制度上、任期が３年間であるため中長期的に知識やノウハウを貯めづらい面がありました。知識・ノウハウを貯め、今後より良い相談対応にすべく次のステップとして「法人の設立及び運営」をミッションとした隊員により、一般社団法人カ

ワラカケルが設立いたしました。

現在は、この（一社）カワラカケルへ移住・定住に関する事業を委託し、歴代協力隊の活動を継承しながら、空き家を活用した『香春町に新しい人の流れをつくる』移住促進に取り組んでいます。

また、歴代の隊員は、町内で体験型民泊や不動産事業者、柿渋染め商品の製造・販売、菜食料理人に専業農家等さまざまな業種で起業をしており、卒業後も香春町への定住率が非常に高く、他の自治体から視察を依頼されるほど評価をいただいております。

■ 一般社団法人カワラカケルとは？

香春町の移住と空き家に関する相談室の運営と地域の課題解決を目的として誕生したのが一般社団法人カワラカケルです。主な活動として、香春町移住・空き家相談室の運営、各種相談への対応、空き家バンクの運営、イベントの企画運営、情報発信、空き家発掘業務が挙げられます。これらの業務の主な目的としては、「香春町に新しい人の流れをつくる」です。空き家バンクの運営や空き家の掘り起こしをすることで、現在眠っている場を新しい人が活用できる場へと転換させる狙いがあり、また、イベントや情報発信を積極的に行うことで、香春町に興味を持ってもらう人を増やすよう取り組んでいます。

法人として運営を行ってからの相談実績は、以下のとおり成果が出始めています。

・移住相談：１１４件
・空き家相談：４５件
・その他相談：６８件
（令和７年４月１日～令和８年３月末時点）

■ 活動内容

協力隊制度導入から１１年目を迎え、「人の流れ」や「空き家の活用」など、それらの取組は着実に成果を上げ、更に深化を続けているところですが、**移住者が生活していくうえで必要不可欠な『仕事』の整備が不十分**であることが新たな課題として見受けられました。

そこで、香春町移住・空き家相談室で新たな町の課題解決に取り組む隊員を募集します。その活動内容は次のとおりです。

（１）移住・定住の取組を継承・発展していくこと

本町歴代の協力隊員は、これまで地域に密着して移住促進に取り組んできました。その取り組みは、仮説と検証による試行錯誤を繰り返していく中で、香春町に適した方法を模索していくというものです。

この１０年の取組によって、彼らは、町内外に「移住のキーパーソン」と言える方々と多様な人脈を築いたほか、各種交流イベントの開催やインスタグラムをはじ

めとするＳＮＳを活用した情報発信により、多くの「行動するファン」を獲得してきましたが、「香春町で生活していくうえで必要不可欠な『仕事』の整備」という新たな課題については、まだまだ不十分といえます。『仕事』の整備に取組む一例として、町内や近隣自治体にある仕事や会社などの情報を収集・整理し、移住希望者などへ紹介する「仕事バンク」の新設など、移住希望者へ寄り添う取組みに期待します。

したがいまして、今回募集する協力隊員には、まず彼らの取組みの方法を学んでもらい、そのうえで新しい視点から発展させていってくれることを期待します。

（２）香春町移住・空き家相談室の運営

本町協力隊員の基本的な業務は、移住・交流及び空き家相談の場「香春町移住・空き家相談室」の運営です。現在運営を委託している（一社）カワラカケルとともに、清掃や掲示物の整理などの施設維持管理業務、移住や空き家等の相談対応、町内の案内などの来客対応といった日常業務。町内に埋もれている空き家や空き地、空き店舗などの掘り起こしやそれらの情報を整理・発信する「香春町空き家・空き地情報バンク」の運営といった空き家対策業務。交流イベントの企画、参加者募集、当日の運営、事後のアフターフォローといったイベント業務。ホームページやＳＮＳ、その他紙媒体を通じた情報発信業務などが主な業務です。

（３）自らのスキルを活かした取組

歴代の協力隊員は、トライアルステイや空き家紹介、「くらし」のイメージ作成、染物による「しごと」づくり、「半農半Ｘ」という新たなライフスタイルの確立など、自らのスキルを活かして各自が専門的に取り組んでいるものもあります。

それらの取組は、すべて、「香春町に新しい人の流れをつくる」という与えられたミッションを実現するために、各自が町の魅力を発掘し、移住希望者に伝えていこうとする活動にほかなりません。

あなたも、自らのスキルを活かして、楽しみながら「移住・交流」の促進を実現していってください。

なお、先輩協力隊員も全員が最初からスキルを身につけていたわけではありません。着任後、学習や経験を積み重ねて徐々に成果を上げてきたものもあります。そのために必要な経費には、協力隊の活動費助成金を充てることができますので、ご安心ください。

【歴代の協力隊が実施したイベント（一部）】

・KAWARA サバイバル ～春の外遊び！ 釣り竿作って魚釣り＆アウトドアクッキング！～

原始時代の火起こしや竹竿作り等、親子で協力して・競って・楽しむアウトドアアクティビティ

・漆喰でＤＩＹ体験
空き家の利活用として、地元企業の講師のもと、漆喰の知識や塗り方を学ぶイベント
・「くらし」のトークイベント
田舎暮らしや多拠点居住のエキスパートたちと香春町での「くらし」を考えるトークイベント
・香春町の渋柿を使って柿渋を作ろう
地域資源を活用した魅力的なモノづくりとして、特産品に用いられる渋柿を使った柿渋づくり
・ナリワイ道場「The Market」
町内で活動している飲食店及び雑貨店(個人含む)をピックアップし、マルシェを開催
・食べたら笑顔になるおむすび教室 ～かまど炊きご飯のおむすびと一手間かけた一汁一菜の食卓～
香春町の特産米の宣伝とともに、新米の美味しさ、昔ながらの炊き方でご飯を味わう企画
・『香春の魅力発掘「Local AtoZ」』ワークショップ
AtoZ 手法を用いて出てきた香春の魅力や想いをもとに、ローカルブック「香春 AtoZ」を作成
・梅シロップを漬けよう！
香春町の手仕事や里山暮らしの一例として、梅シロップ作りを体験
・香春 10 山(とざん)にチャレンジ ～三ノ岳登山～
香春町の地域資源である「低山」を活用し、地元観光団体の企画に合わせた合同イベント、

（３－１）自らの起業に向けた取組

３年間の任期中は、香春町への定着を目指して是非「ナリワイ」づくりに挑戦してください。香春町では、地域おこし協力隊が将来的な起業や「ナリワイ」(「起業」ほど大げさなものではなく、一つ一つの収入は小さいが複業スタイルで組み合わせて１人前の生活費を稼いでいくものを想定）づくりに向けての活動を積極的にサポートします。

（３－２）一般社団法人カワラカケルへの就職

この法人のサポートを受けながら、任用期間である３年間をともに活動していただきます。任期後に本法人へ就職し、継続して地域課題の調査・研究、及び解決へ取組むこともできます。

例「カワラカケルの１日のスケジュール」
9：00／出勤・相談室の清掃
10：00／事務作業
11：00／空き家相談対応・空き家の現地調査・書類作成
13：00／移住相談対応・内見の実施
15：00／SNS の更新・イベントの打ち合わせ
17：00／退勤

9：00／出勤・相談室の清掃
10：00／地域交流イベントの実施
13：00／地域回り・空き家発掘
15：00／空き家バンク作業・役場と打ち合わせ
17：00／退勤

（３－３）香春町内への就職・事業承継

新たな課題として挙げられた『仕事の整備』への取組の中で、地域で活躍する会社や小規模事業者、地域に根付いた個人商店など多くの仕事に触れることが予想されます。そこであなたが活躍することに適した環境と出会うことも考えられます。その際は、あなたの持つスキルを存分に発揮し、活躍していただきたいと思います。

■ ３年間の活動イメージ

１年目：「知る・知ってもらう・慣れる」

協力隊として地域で活動するためには、地域のことをよく知っていることが何よりも重要となり、全ての基本となります。同時に、地域から自分のことを知ってもらうことも大切であり、何かあった時に頼れる人や信頼できる関係性を築いておくと活動しやすくなります。

１年目はあらゆる関係づくりに注力をすることをオススメします。

・香春町移住・空き家相談室の運営を主に行いながらどんな地域なのかを知る
・協力隊関係の研修への参加、近隣協力隊とのネットワークづくり
・広報記事やSNS等で積極的に発信し地域から知ってもらう

２年目：「何ができるか試す」

１年間活動していく中で、自分のやりたいことや取り組みたい活動などが見えてくると思います。小さなことでも大丈夫です、課題解決に向けてコツコツ挑戦をし、３年目そして卒業後に繋げていく種まきの期間となります。

・イベント形式でトライアルアンドエラーを繰り返す
・仕事づくりのタネを撒く
・実際にプロジェクトとして動かしてみる

３年目：「卒業に向けた最終段階」

最後の１年は卒業に向けてとても忙しい期間となることが予想されます。２年目で見えてきた課題をクリアしていき自分の仕事づくりをより具体的にしていきます。また、ある程度地域や行政からの信頼が得られると様々なお願い事やプロジェクトを任されるケース

もあり、嬉しい悲鳴でありますが、近い将来の自分をイメージしながら取捨選択して活動していくことになります。
・具体的な仕事づくり
・補助金の申請
・定住に向けた準備

■ （一社）カワラカケルのサポート

協力隊を経て法人を設立したカワラカケルが、地域案内から始まり、人繋ぎ、協力隊制度を有効に活用していくためのポイント、役場との関わり方、予算の使い方、日々の業務での支援、書類作成のサポート、プロジェクトの支援、起業支援などあらゆる面で経験をもとにサポートいたします。

３年間協力隊として活動していく中で、その時々によって困りごとは変化していきます。例えば、やろうと思っていた事が出来ない場面も出てくるかもしれません。そんな時にどうすれば実行に移せるかなどの相談対応が可能です。

■ 香春町役場のサポート

月に１回の定期的なヒアリングはもちろんのこと、日常的にコミュニケーションを活発に行い、担当部署内での連携だけでなく、他の部署等への案内や紹介など隊員が任期中や卒業後も活動しやすいようサポートいたします。

活動や起業に関する補助金も整備しており、隊員の取組みをより活発に行えるよう環境を整えております。また、協力隊として活動していく中で、やりたいことや認識していた課題が変化していくと考えられます。町はその変化を拒まず、柔軟に受け入れながら任用期間内に限らず、卒業後も町内で活動がしやすいよう最大限の力添えいたします。

その他、ミッション遂行に関する相談だけでなく、慣れない土地での生活の相談など困りごとにも耳を傾け、隊員の暮らしに寄り添います。その結果として、非常に高い定住率を誇っていると分析しています。

■ 募集対象

経験・未経験は問いません。活動内容に興味があり、自ら考えて働くことができる方を募集します。

（１）必須要件

①年齢：問いません

②性別：問いません

③住所：現在、三大都市圏をはじめとする都市地域等に居住し、委嘱後、香春町内に生活拠点を移し住民票を異動できる方で、香春町に１年以上の滞在を予定する

方。又は、他地域で、地域おこし協力隊に一定期間（２年以上）従事し、かつ、解職から１年以内の方。そのうち委嘱後、香春町内に生活拠点を移し、住民票を異動できる方で、香春町に１年以上の滞在を予定する方。

※「三大都市圏をはじめとする都市地域等」とは

・「条件不利地域（過疎、山村、離島、半島等の指定地域）のない市町村

・「一部条件不利地域」の市町村のうち、条件不利区域以外の区域

※詳しくはお問い合わせください。

④資格等

・普通自動車運転免許（ＡＴ限定可）

・パソコン（ワード、エクセル、パワーポイント等）の一般的な操作ができる方

⑤健康：心身ともに健康で、誠実に職務を行うことができる方

⑥その他：地域おこしに意欲と情熱があり、地域になじむ意思のある方

（２）歓迎要件

①ＳＮＳを積極的に利用している方

②多様な人と交わり、話を聞くことが好きな方

③地域との関わりに興味がある方（経験は求めません）

④文章を書くのが好きな方（経験は求めません）

⑤ウェブデザインに興味がある方（経験は求めません）

⑥地方創生に興味がある方

※任用期間終了後、起業・就業し、香春町に定住する意欲のある方を歓迎しますが、任期終了後の定住を強制するものではありません。

■ 勤務地

香春町移住・空き家相談室

・住所：福岡県田川郡香春町大字採銅所 2595 番地 4（JR 採銅所駅舎内）

・電話・FAX：0947-32-3115

・開館時間：9 時 ～ 17 時

・休館日：毎週水・木曜日および年末年始

■ 活動時間・給与　※以下の２つのパターンから選択可能です。

（１）週２８時間（７時間×４日）／月額２０万円

（２）週３５時間（７時間×５日）／月額２３万円

※香春町では任期中・任用後の「独立」「起業」を視野に入れた自主活動や仕事（地域おこし協力隊との兼業）を推奨しています。また、「半農半Ｘ」といったライフスタイルも尊重したいと考えます。そのため、平日の残りの時間は、活動内容や勤務地にとら

われず、起業準備や資格取得、農林業、地域活動など独自の活動を積極的に行ってください。

※実際の勤務時間は、移住・空き家相談室の開館時間を（一社）カワラカケルと共同してカバーしていくため、シフト制となっております。

※移住・空き家相談室の開館時間の都合上、原則水・木曜日が休みになります。またシフトにより土日祝日が勤務日になることもあります。

■ 雇用形態・期間等

・地域おこし協力隊（会計年度任用職員）として香春町長が任用します。

・任用期間は原則として令和９年４月以降としますが、相談のうえ調整します。

・当初任用期間は、任用の日から令和１０年３月３１日までとします。その後は、活動実績等を踏まえ１年ごとに更新し、最長で任用の日から３年まで延長します。

■ 着任経費等

（１）着任経費　引っ越し費用として定額で２０万円を１回のみ（２）の活動経費に含む形で支給します。

（２）活動経費　活動費助成金として予算の範囲内で支給します。（昨年度：１２０万円）
（町への申請手続きが必要です。経費は打ち合わせのうえ決定します。）

（３）起業経費　任期後も引き続き町内に住み、事業（個人事業主を含む）を行う場合は、その経費を任期満了日の前後１年間の期間中に１回のみ補助します。
（上限：１００万円）

■ 待遇・福利厚生

・期末勤勉手当（年２回支給）

・社会保険（雇用保険、健康保険、厚生年金）に加入します。

・住居は町があっせんします。家賃は活動費助成金の対象となります。

・活動用の車両経費（リース料、燃料費等）については、活動費助成金の対象となります。

・隊員が兼業を行う場合には、規定上、町長への届け出と許可が必要となります。

■ 応募手続き

（１）**応募受付期間　令和８年１１月１日（日）～令和９年１月１０日（日）**
※応募書類：１月１０日(日)必着

（２）提出書類　次の書類を香春町役場地域振興課に郵送又は持参してください。
①応募用紙（香春町公式ホームページからダウンロードできます。）
②住民票抄本（３ヶ月以内に取得したもの）

③運転免許証の写し

（３）申し込み・問い合わせ先

〒８２２－１４９２　福岡県田川郡香春町大字高野９９４番地

香春町役場地域振興課地域つながり係

ＴＥＬ　０９４７－３２－８４１３

ＦＡＸ　０９４７－３２－４８１５

メールアドレス　tsunagari@town.kawara.fukuoka.jp

■ 選考の流れ

（１）審査方法

①第１次選考　書類審査のうえ、結果を通知します。

②第２次選考　**第１次選考合格者を対象に、面接を行います。（２月予定）**

なお、交通費・宿泊費等は自己負担とします。

（２）最終選考結果のお知らせ

第２次選考の結果については、決定次第、文書で通知します。

■ 見学・相談会について

（一社）カワラカケルの活動内容や移住・交流及び空き家相談の場「香春町移住・空き家相談室」については、本要項を読むだけでは、十分に伝わらないと思います。応募の前後に関わらず、「移住・空き家相談室」の見学や（一社）カワラカケルとの交流、担当職員との面談などについては、できる限りご対応します。

詳しくはお問い合わせください。（※交通費・宿泊費等は自己負担でお願いします。）

■ リンク集

参考として、香春町地域おこし協力隊が関係するウェブサイトをご紹介しますので、雰囲気をつかむためにもぜひご覧ください。

（１）公式サイト

香春町移住情報サイト 「カワラカケル」	http://kakeru.town.kawara.fukuoka.jp/
香春町移住・空き家相談室 フェイスブック	https://www.facebook.com/iheartkawara/

香春町移住・空き家相談室 インスタグラム	https://www.instagram.com/dai2machiaishitsu/
香春町公式ホームページ 「協力隊紹介」	https://www.town.kawara.fukuoka.jp/s008/kanko/030/kyouryokutaisyoukai/20180104132704.html
香春町公式ホームページ 「協力隊だより」	https://www.town.kawara.fukuoka.jp/s008/kanko/030/010/20171024192659.html

（２）協力隊個人サイト

①原田野々花隊員（移住・交流の場づくり担当）

インスタグラム	https://www.instagram.com/nonkytam?igsh=MXh6NWRjbjg4cW5lMg==

②安部佑太隊員（移住・交流の場づくり担当）

インスタグラム	https://www.instagram.com/kihon_no_dogu_abe/

（３）協力隊 OB・OG 個人サイト

①村井勇輝隊員（移住・交流の場づくり担当）

フェイスブック	https://www.facebook.com/profile.php?id=100003142727149
インスタグラム	https://www.instagram.com/muraiya_murai/
体験型民泊「村井屋」 ホームページ	https://www.muraiya.com/
体験型民泊「村井屋」 フェイスブック	https://m.facebook.com/minpaku.muraiya/
体験型民泊「村井屋」 インスタグラム	https://www.instagram.com/minpaku.muraiya/

②手島順也隊員（移住希望者のための住環境の提供担当）

フェイスブック	https://www.facebook.com/teshima.junya
インスタグラム	https://www.instagram.com/junya_teshima828/
X（旧ツイッター）	https://x.com/teshishima?t=z_kEhhG7lWyJWBoCRNN74Q&s=06
手島不動産ホームページ	https://t-estate.kawara.site/

③濱田雄飛隊員（移住希望者に向けた「くらし」のイメージの発信担当）

ポートフォリオ	http://yoshitakahamada.com

④村上夕子隊員（移住・交流・仕事づくりサポート担当）

フェイスブック	https://www.facebook.com/yuko.murakami.96
「POT Dye & Design」 ＥＣサイト	https://pot-dyeanddesign.com/
「POT Dye & Design」 インスタグラム	https://www.instagram.com/pot.dyeanddesign/

⑤小野沢春輝隊員（しごとづくり担当）

フェイスブック	https://www.facebook.com/ha.ha.ha.haruki/
インスタグラム	https://www.instagram.com/onozvwv_hvruki/
写真の仕事	https://harukionozawaphoto.localinfo.jp/

⑥三村信也隊員（半農半Ｘ担当）

フェイスブック	https://m.facebook.com/shinya.mimura.1
インスタグラム	https://www.instagram.com/shinyamimura/
ウェブサイト	https://shinyamimura.tumblr.com/

⑦小玉篤美隊員（半農半Ｘ担当）

フェイスブック	https://www.facebook.com/atsumikodama
「yukuta」インスタグラム	https://www.instagram.com/yukuta_/

⑧市岡実幸隊員（春香る町の交流担当）

フェイスブック	https://www.facebook.com/miyuki.ichioka.5
インスタグラム	https://www.instagram.com/ichiko_hanauta/
「はなうた工房」 インスタグラム	https://www.instagram.com/hanauta_kobo/
「はなうた工房」 ウェブサイト	https://hanautakobo.stores.jp/reserve/herbball

⑨福羽弘之隊員（移住・交流の場づくり担当）

フェイスブック	https://www.facebook.com/d.c.v.interior.form
インスタグラム	https://www.instagram.com/fukuba_hiroyuki/#